



市の健診について

今年も健康カレンダーが届き、大変助かります。できることから、市の健診に脳梗塞の予防で、頭のレントゲンなども入れてもらいたいと思います。なかなか1人では勇気が出ませんが、市の健診であれば気軽に病院へ行くことができると思います。少し個人費用もかかるとは思いますが、入れることはできないでしょうか。

(恵那の子・大井町)

答

市の基本健康診査では、脳梗塞や心筋梗塞などの生活習慣病を予防するため、血管の動脈硬化を起こす前の予防に重点を置いています。

血管を傷める基になる高血圧や高血糖、高脂血症などは、血圧や血液検査でチェックできます。これは、自覚症状に現れる前の体の

市民投票について

状態を知り、生活習慣を点検していただく機会でもあります。脳のCT検査は、費用負担が掛かることや、多くの方が受けられる体制ではないため、現在は市の健診に組み入れることは難しい状況です。このため健康相談などで、希望される方には医療機関で受診いただくようお願いしています。

(健康推進課)

答

私たちは、誰もが年を取り下手をすれば病気になると思います。市立恵那病院は、近隣都市の中では最小で、他市へ行かないと治療できない病気が多い。それなのに美術館やスケート場など、ごく一部の市民しか恩恵を受けない施設に、年間2億円近い予算を使っているのではないだろうか。夕張市の二の舞にならない保証があるのでしようか。市民全員での投票を実施して、今からでも無駄をやめて市立恵那病院の拡充をはかり、もっと医療を充実させるべきだと思います。

(牧野さん・大井町)

答

市では市総合計画を策定し、合併後の新たなまちづくりにより平成18年度から取り組んで

います。総合計画では、市民の皆さんの文化、芸術およびスポーツ活動の振興を図る上で、中山道広重美術館や恵那スケート場を、市の特色ある芸術やスポーツの中心施設として位置付けています。また地域医療に関しては、市立恵那病院、国保上矢作病院の2つの市立病院と、6つの診療所により、市民の皆さんが安心して医療サービスを受けることができるよう、地域医療体制の充実や医療施設の整備を計画的に進めています。

このようにまちづくりを進めるためには、健康福祉や生活環境などのさまざまな分野の事業を行う必要があります。

市民全員の投票により、個々の事業の政策判断を行うことに関しては、現在の法律では根拠となる規定がないため、住民投票を行うための条例を制定して実施することになります。現在、恵那市にはこのような条例は制定されていません。従って、住民投票条例が必要な場合には、条例の制定を行い実施することになります。また住民投票の結果については、政策決定に強制力を持つものではないため、あくまで政策の最終的な意思決定は議会での審議によるものとなります。

(企画課)

託児中の子どものおやつについて

子育て支援センター主催のセミナーや、まきがねトレーニングセンターでは託児ケアがあり、大変ありがたく思っています。しかし託児されるスタッフの方や主催者が、子どもにおやつを与えることがあると聞きました。親は、子どもが食べる物やアレルギーなどに気を付けています。安易におやつを与えないようにしていただきたい。

(かあさん・大井町)

答

地域子育て支援センターで行う講演会などには、ボランティアが託児を行っており、おやつを用意しています。しかし支援センターの指導員が、事前に親御さんにアレルギーなどの有無や、おやつを与えて良いかの意向を伺って実施しています。また、まきがね公園体育館での託児では、おやつを用意はしていません。しかし中には親御さんが持たせていることがありますので、ほかのお子さんが食べないように、職員やボランティアなどで注意し合って見守っていきます。

(子育て支援課・スポーツ課)

結婚相談について

少子化対策推進室が設置され、大いに期待しています。少子化問題は、子育て以前の問題が大きな障害になっていると思います。30歳以上の未婚者が多く、親の心痛の種です。何とか本人をその気にさせる対策はないでしょうか。

(匿名・三郷町)

答

未婚化晩婚化対策が少子化対策の一つとして考えられます。恵那ことぶき結婚相談所では、年に数回、カップリングパーティーを企画し、多くのカップルが誕生しており、このカップルの中から一組が結婚される運びとなりました。

本年度はカップリングパーティー以外に、未婚男性向け、親向けの結婚セミナーを企画しています。また毎月第4土曜日の午後2時～4時まで、岩村公民館で結婚相談を行っています。相談を希望される方は、一度お越しください。なお相談日につきましては、本紙毎月15日号のインフォメーションに掲載していますのでご覧ください。

(少子化対策推進室)



『みんなの掲示板』は、皆さんが主催するイベントや各種募集などを市内に周知するためのコーナーです。(営利目的・宗教・政治に関する掲載はできません)
掲載の申し込み・問い合わせ まちづくり推進課広報広聴係 ☎26-2111 (内線314)

生ごみの堆肥化 ぼかしの勉強会

ものと心を大切にすることで、ぼかしを使って生ごみを自家処理する活動を進めています。「台所の生ごみは宝」と考え、今まで捨てていた生ごみを有効活用してみませんか。生ごみを市のごみに出さないだけで、家庭のごみはずいぶん減らせます。ぼかしに興味のある方、一緒に勉強しませんか。

内容 ぼかしを使っての生ごみの自家処理の勉強会(全3回)
参加費 無料

【第1回】 とき・ところ = 6月7日(木)・明智振興事務所(ききょう会議室) 6月14日(木)・岩村公民館、6月21日(木)・市共同福祉会館
時間 = 午前10時～11時半 内容 = ぼかしの使い方説明

【第2回】 とき = 7月 内容 = ぼかしを使っての質疑応答

【第3回】 とき = 10月 内容 = 飛翔の里(中津川市)で、ぼかし製造過程の見学
締め切り 5月31日(木)

主催 ものと心を大切にする会
共催 岩村町生活学校
申し込み・問い合わせ 「ものと心を大切にする会」安藤克子 ☎25-2514、安藤祐子 ☎25-2176

アフリカへ毛布を送りませんか

内戦や干ばつ、貧困などで苦しむアフリカ諸国の人々へ毛布を送りませんか。アフリカへ毛布を送る運動推進委員会では、次の場所で毛布を収集しますので、ご協力ください。

とき 5月20日(日)午前9時半～午後3時
ところ 総合福祉センター、田園空間ピタターセンター(笠置町)

収集物 毛布。ただし、穴が開いているもの、破れているもの、綿毛布、ベビー毛布、毛布以外のもの(こたつ布団、古着など)はご遠慮ください。使用された毛布は、洗濯をお願いします。

協力費 海外輸送費として、毛布1枚につき900円のご協力をお願いします。

問い合わせ 「アフリカへ毛布を送る運動」東濃地区推進事務局 ☎0573-66-7420